姿見の池自然探勝路

この往復の自然探勝路を進むと、姿見の池にたどり着きます。コースの長さ 1.7 キロメートル、完歩時間は約 1 時間です。探勝路は高山帯に位置し、標高 1,670 メートルにまで到達します。高山帯の特徴は、植生植物の背丈が低いこと、そして樹木が欠如していることです。

その道中では、旭岳が噴気孔から熱い硫黄ガスを噴き出す姿が見られます。短い夏季に見事な花を咲かせる多様な高山植物も見られます。鳥の種類であるギンザンマシコやエゾナキウサギなどの小さな哺乳類は、ここで観察できる珍しい野生動物の 1 つです。この特定のゾーンは、日本の特別天然記念物に指定されています。

環境を損なわないよう、マークされた探勝路の外へは出ないようにしてください。また、植物、花、岩、小石、硫黄の塊などは持ち帰れません。ごみはすべて持ち帰るようにしてください。